

(公社) 日本地すべり学会 関東支部 平成 28 年度総会・シンポジウム開催報告

1. 実施概要

(1) 開催日：平成 28 年 5 月 12 日（木）11：00～

(2) 開催場所：東京大学工学部武田先端知ホール
（東京都文京区弥生 2-11-16）

(3) 主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部

(4) 来賓：

(一社) 斜面防災対策技術協会関東支部長 上野雄一氏

(公社) 日本地すべり学会 前関東支部長 鶴飼恵三氏

群馬県 環境森林部 森林保全課長 鈴木秀雄氏

(5) 参加人数（最終）

総会：41 人（支部会員 39 人、非会員 2 人）委任状 90 人

シンポジウム：107 人（支部会員 94 人、非会員 13 人）

意見交換会：54 人（支部会員 47 人、非会員 7 人）

2. 内容

(1) 総会

議長：稲垣秀輝氏（株式会社 環境地質）

1 号議案では、前年度の支部役員の任期満了に伴い、下記 4 名の役員が出席者の賛成多数で選任された。

- ・支部長：櫻井正明
- ・副支部長：若井明彦
- ・監事：向井啓司、鈴木秀雄

2 号議案では、前年度の事業報告・決算報告が賛成多数で承認された。

3 号議案では、関東支部運営内規（支部役員の選任、災害調査に関する項目）の変更が賛成多数で承認された。

また、平成 28 年度の事業計画・予算が報告され、賛成多数で承認された。

最後に、関東支部の設立・発展に多大な功績を残された鶴飼恵三氏・浦元啓氏への感謝状贈呈が行われた。

(2) シンポジウム

関東支部の創立 10 周年記念行事として「変わりゆく豪雨災害」というテーマでシンポジウムを開催しました。

先ず、記念講演として、静岡大学の土屋智先生（地すべり学会会長）により、地表状態を観測することが可能な観測技術衛星の活用・応用が報告されました。

続いて、近年の豪雨災害として、山梨大学の後藤聡先生から平成 25 年の伊豆大島豪雨災害、群馬大学の若井明彦先生から平成 27 年の関東・東北の豪雨災害の講演が行われました。また、シンポジウムの後半は、豪雨災害への対応技術として、防災科学技術研究所の岩波越氏による先端的気象レーダによる降雨観測、防災科学技術研究所の酒井直樹氏およびアジア航測（株）の小野田敏氏による崩壊実験の講演・報告が行われました。

最後に、落合博貴関東支部長をコーディネータとして、各講演における総合討論が行われました。

(3) 意見交換会

東京大学の山上会館において、参加者同士で近況報告や意見を交換し、親睦を深めました。

（文責：関東支部幹事会 平木慎一）



写真-1 鶴飼前関東支部長への感謝状贈呈



写真-2 シンポジウム会場の様子